

<記入例>

履 歴

本 籍 地 (都道府県のみ)	熊本県	誤りが多いため、 注意すること。	生年月日は和暦で 記入すること。
現 住 所	熊本市中央区水前寺6丁目18-1		
フリガナ	メンキョ ハナコ		
氏 名	免許 華子	昭和〇〇年 〇月 〇日生	平成〇〇年 〇月 〇日生

1 学 歴

年	月	日	
昭和 63	4	1	〇〇市立〇〇中学校 入学 <del>△△市立△△中学校 入学</del> ●●●
平成 3	3	31	〇〇市立〇〇中学校 卒業
3	4	1	〇〇県立〇〇高等学校〇〇科 入学
4	4	1	〇〇県立△△高等学校〇〇科 2学年転入学
6	3	31	〇〇県立△△高等学校〇〇科 卒業
6	4	5	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学
10	3	25	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業

訂正する場合、二重線で消す。  
※修正テープ等は×

- 年月日も和暦で記入
- 入学・卒業日まで記入すること(空欄不可)

- 中学校入学から記入
- 私立学校の場合は、「私立〇〇高等学校…」又は「学校法人 〇〇学園〇〇高等学校…」と記入すること
- 転学、休学、退学についても記入すること
- 高等学校・大学等は、科、学科、学部名を記入すること。(注5参照)
- 予備校は記入不要

- 無い場合は『なし』と記入すること。(注4, 7参照)
- 有する教員免許状全てを免許状記載のとおり記入すること。
- 平成21年4月1日以降にはじめて免許状を取得した場合は、免許状に有効期限(和暦)が記載されています。その期限を必ず記入すること。
- 資格を基に教員免許を取得する場合は、基礎となる資格について記入すること。(例:保育士証、保健士免許証、看護師免許証等)
- 記載した教員免許状・資格証の写し(原本証明必要)を添付すること。
- 教員免許状を紛失している場合は、授与証明書の原本を添付すること。

2 免許・資格

年	月	日		有効期間がある 場合の年月日
昭和●●	●	●	中学校教諭二級普通免許状(英語) 熊本県教育委員会	年 月 日
平成□□	□	□	高等学校教諭一種免許状(国語) 熊本県教育委員会	

### 3 職 歴

年	月	日	
平成 10	4	1	私立〇〇中学校 非常勤講師 (平成 11 年 3 月 31 日まで)
11	9	1	△△町立△△中学校 講師 (平成 12 年 3 月 28 日まで)
12	4	1	△△町立△△中学校 講師 (平成 13 年 3 月 28 日まで)
13	4	1	□□市立□□□中学校 教諭
16	4	1	●●町立●●中学校 教諭
18	9	6	産前・産後休暇
18	12	26	育児休業
20	4	1	●●町立●●中学校 復職
22	4	1	◇◇町立◇◇中学校 教諭
25	4	1	□□市立◆◆中学校 教諭

- ・職歴が無い場合は、「なし」と記入すること。
- ・職歴が有る場合は、従事した順に勤務先・職名を全て記入すること。  
(学校以外の職歴も全て記入)
- ・産休・育休・病休等についても記入(注6参照)

### 4 身上に関する事項及び賞罰等

なし

- ・身上に関する事項及び賞罰等が無い場合は「なし」と記入すること。
- ・免許法第5条第1項各号に該当する(した)場合は、必ず該当する事項について記入すること。

上記のとおり相違ありません

申請日(授与願右上の日付)を記入すること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏 名 免許 華子

#### 記載注意

- 1 太線枠内は記入しないこと。
- 2 現住所は番地まで記入し、年月日には年号を付し、数字は算用数字を用いること。
- 3 「2免許・資格」以下については、該当する事項がない場合はその旨記入すること。
- 4 学歴は、中学校入学から記入し、休学、退学についても記入すること。また、高等学校、旧専門学校、大学等には、科、学科、学部名を記入すること。
- 5 職歴には、従事した順にすべて記入し、休職、復職、産前産後休暇、育児休業、傷病休暇、退職についても記入すること。賃金、給与等は記入しなくてもよい。
- 6 教員免許状は、所有するもの(旧免許状も含む。)すべてについて記入し、教科、授与権者名も記入すること。

注意事項を必ずよく読んで記入すること。

# 履 歴 書

本 籍 地 (都道府県のみ)		
現 住 所		
フリガナ		
氏 名		年 月 日生

## 1 学 歴

年	月	日	

学校	学部	学科	根拠規定	基礎資格	学校①	学校②	学校③	

## 2 免許・資格 (教員免許状取得に関する資格に限る。)

年	月	日		有効期間がある 場合の年月日	
				年 月 日	

### 3 職 歴

年	月	日	

### 4 身上に関する事項及び賞罰等

上記のとおり相違ありません

年 月 日

氏 名

#### 記載注意

- 1 太線枠内は記入しないこと。
- 2 現住所は番地まで記入し、年月日には年号を付し、数字は算用数字を用いること。
- 3 「2免許・資格」以下については、該当する事項がない場合はその旨記入すること。
- 4 学歴は、中学校入学から記入し、休学、退学についても記入すること。また、高等学校、旧専門学校、大学等には、科、学科、学部名を記入すること。
- 5 職歴には、従事した順にすべて記入し、休職、復職、産前産後休暇、育児休業、傷病休暇、退職についても記入すること。賃金、給与等は記入しなくてもよい。
- 6 教員免許状は、所有するもの（旧免許状も含む。）すべてについて記入し、教科、授与権者名も記入すること。

